

新聞雜誌

明治壬申七月

第五十三號

定價二匁



特	別
18	
787	
53	



緒言

凡天下ノ物事日ニ新ナルニ我未タ見聞セラルヲ知テ吾知識ヲ廣ムルヨリ
 樂シキ分見聞ノ狹キ田舎人ハ心頑ニ知暗シテ疑怖ムト多ク竟ニ我ヲ
 是トシテ非トスル過アリ今日カハル辱キ 御代ニ逢ヒテモ遠境ノ人ハ
 大政ノサマヲモ知ラデ却テ疑非ル者モアルベシカクテハ逢カ多キ世ニ生レシカヒ
 ナシ今 官許ヲ受テ新聞私局ヲ開キ 大政ヲ始ノ諸府諸縣ノ變革
 又ハ里巷ノ瑣事外國ノ異聞マテ見聞ニ随ヒ刊行スルハ我 日本國中
 ノ人々ト新知ヲ開ク樂ヲ同シ頑カ心僻ノ事ヲ棄ントテナリ願ハ此冊子
 ヲ讀玉フ人々ヲ聞テニヲ推シ近ヲ知テ遠ヲ察シ天地間ニ我意外ナル驚可ク
 喜可キ事多ク唯一隅耳ヲ見ル田舎人タルヲ免レヌ夏虫氷ヲ疑ノ笑有リト知
 玉ヘサテコノ復古ノ 大御代ニ生レシ人タルニ負カジト云ヘケレ

新聞雜誌第五十三號 明治五年壬申



○六月下旬ノ御布告ニ新紙幣ノ内十圓五圓二圓ノ三
 種製造出来當六月二十五日ヨリ発行相ナリ候条三種
 見本相添此段相達候ナリ
 ○同御布告ニ近来自葬取行候者有之哉ニ相聞一候處
 向後不相成候条葬儀ハ神官僧侶ノ向一可相頼候事
 ○同從前神官ハ葬儀ニ關係不致候處自今氏子等ヨリ
 神葬祭相タノミ候節ハ喪主ヲ助ケ諸事可取扱候事
 ○貸金銀滞出入ニ付身代限リ申付候節以來ハ猶又宅

並ニ各府縣裁判所前高札場等三ヶ所ハ別紙案文ノ通
相認ノ三十日ノ間揭示致シ候上身代限リ濟方可申付
尤右ノ趣傳承日限中追願致シ候分ハ取糺所置可致旨
六月下旬御布告アリタリ

揭示案

何町 何之誰

右ノ者儀何村町何ノ誰ヨリ貸置滞出入出訴ニ及ヒ吟
味ノ上身代限リ申付候ニ付モシ何ノ誰一掛ケ同様ノ
願有之モノハ来ル幾日迄ニ可申出右日限過去リ訴出
ルニ於テハ一切取上ケ無之候間其旨可相心得者ナリ
同 何町 何之誰

右ノ者借金出入ノ末吟味ノ上身代限リ申付候ニツキ
所持ノ品左ノ通来ル幾月ニ入札拂為致候茶入札致方
望ノ者ハ當日何字同人方へ可罷出モノナリ

- 一 建家 土藏 一 所持ノ品 何々

右何月何日入札拂

今般華士族平民共身代限リ規則相定ノラレ候茶左ノ
通相達シ候事○右御規則書ハ此ニ畧ス

但當壬申八月朔ヨリ施行可致事

○阿片煙ノ儀ニ付神奈川縣ヨリ届書ノ畧ニ當港居留
支那人共ノ内吸飲ノタメ阿片煙先頃中密ニ輸入致シ

館内ニ持行候途中取押へ右品取上ケ置候ニ付可燒捨
哉ニ候得共藥用ニモ可相成趣ニ付右ブリツキ誥阿片
煙十箱差上申候云々

○此節工部省ニ於テ御雇入ノ外國人 皇城ノ測量ニ
取掛リタルニ愚民共測量トハ心附カス何カ無根ノ浮
説ヲ云ヒ出セルモノアル由

○先頃ヨリ工部省ニテ府下越中嶋ヨリ測量ニ取掛リ
追々日本全國ヲ測量セラル、由

○東京府貫屬卒中根三久伴千代之助ナル者當春詐偽
ノ科ニ坐シ庶人ニ下サレ右三久へ御引渡シニ相ナリ

同人ノ養育ヲウケル未小兒子游ヒノ足ヲ持ラヘ渡世
ヲナセシカ四月廿七日フト早朝ヨリ心地ヨカラス終
日仕事ヲ休ミ夕方入湯シタシトテ湯錢ヲ母喜久ナル
者へ乞ヒシ處喜久不昔相方互ニ言ヒ募リシヨリ千代
之助終ニハ喜久ヲ罵詈打擲セシニ付喜久奮怒ニ夕へ
六千代之助力大不孝ナルヲ訴訟イタシ御裁判ウケ夕
キ旨願ヒイテシトゾ千代之助力親ヲ罵詈打擲セシハ
其不孝ナル言ヲ待ストイヘ氏又母喜久ノ其子ヲ訴訟
シ裁判ヲ願フモ慈悲スクナキニ迄シ從來不孝ノ罪ハ
古モ今モカワリシ一ハアルマシサレハ理ヲ審ラカニ

シテ裁判ニ掛ラル、時ハ重キ罪科ニ處セラル、ハ必
 然ナリ全体親ハ子ノ為メニカリシ子ハ親ノ為メニカ
 クストハ世間ノ人情ナリ又父子骨肉一室ニ同居スレ
 ハ其間夕心易キ余リ言語相逆フハ凡俗ノ常ナリ然ル
 フ僅カノ口論ヨリ現在肉身ノ子ヲ訴訟スルト其子
 其母孝慈ノ道兩ツナガラ相棄タリ且世上ニ不慈不孝
 ノ惡名ヲ批評セラル、ニ至リハ豈ニ傷マシカラズヤ
 ○或人ノ話シニ駿州枝多郡岡部驛ヨリ一里程近在ニ
 中ノ鄉村トイヘルアリ此ニ住セル農民某方ニ昔ヨリ
 相傳テ藤ノ森ト號セシ一株ノ古松アリシカ今般御趣

意ニ付路傍ノ樹木代拂ノ節彼ノ古松モ同掾ニキリ拂
 ハレシニ付某ナルモノ其根ヲ掘リシニ古鏡ニ面ヲ得
 タリ田舎ノ一ナレバ甚タ奇怪ニ思ヒ罰アランヲ恐
 レ速ニ他ニ賣却セシ處相方トモ忽チ病ヲ發シ種々
 妄言ヲ吐キ散ラセリ依テ同村ノ修檢者右持主ニ計リ
 不ニ山へ獻納シテ其罪ヲ謝セントテ忽チ禿足シ由井
 驛ニ至ル頃病氣愈甚シク遂ニ服差ニテ腹ヲ切り半死
 半生トナリシカ人、女抱ヲ得テ漸ヤク歸郷セル由去
 ル六月廿日前後ノ事ナリシトゾ
 ○近頃尾州ヨリ歸リシ人ノ話シニ尾州ヨリ東京迄ノ

摸樣ヲ通視セルニ駿遠ノ間ハ傳信線ニ礫ヲ擲クハ十
ニ六七ハ破損セリ又杭ニハ種々ノ落ガキアリテ其疎
漏ナル見ル可ラス三尾ノ間ハ之ニ反シ杭ノ根ニハ圍
ヒヲ設ケ人ヲシテ觸ル、事ナカラシメサシモ信線ノ
破損セルヲ見スト云ヘリ

○今度猿若一町目ニテ於岩ノ演戲ヲ始ムルニ付惣一
坐ノ誹優ハ勿論茶店其外六百余人六月廿九日於岩稻
荷ニ參詣セシガ府下ノ男女之ヲ見物セントテ其通
筋ニ符合セ街頭殊ノ外雜當セリトゾ

○第四十九號ニ記載セル身延山祖師開帳ノ儀ニ付前

田忠文ナル者ヨリ左ノ忠告アリタリ今ヤ 皇政新夕
ニ開化日ニ進ニ文明月ニ盛ニシテ諸所ニ百ノ學校説
教大ニ行ハレ天竺説ヲ重ニスル謗僧怪俗御慮シノ折
柄カクノ如キ太鼓ヲ鳴ラシテ燈ヲ照シ大壺ニ題目ヲ
唱ヘ甚シキニ至リテハ面上ヲ彩色シ男子ニシテ女子
ノ形ヲナス痴トヤ云ン狂トヤ云ン實ニ嘆ク可キヲ十
リ然ニ後未教法ノ開ケンヲ以テ知ル可ト記載セ
ラレシハ如何ナル真念ヲヤ迄頃貴局ノ失躰ト云フベシ
願ハクハ願妄ノ説ヲ察シ真實有益ノ事件ヲ出板アリ
夕シ云々其文意ノ深切著明ナル謝スルニ余リアリ然

レ此概シテ我等ノ失トアレハ試ニ其趣旨ヲ論セン凡
リ新聞紙ハ正直忌諱ナキモノト雖氏理論評語ニ至リ
テハ其言必ス緩急ナキヲ得ヌ故ニ遠ク諷シテ覺ラ
シムルアリ近ク讒リテ諫ムルアリ喻言以テ之ヲ教ヘ
賞言以テ之ヲ進ムナト語長クシテ義少ナリ文短クシ
テ意多シ其言タル自カラ表裏ナキ一能ハス今此件ノ
如キハ直言忌諱ナク是非善惡巨細ニ論セレト吾等ノ
辞セサル處ナリ然レ氏此件ノ文意ハ必ラス有ル人ア
ラン古人ノ云書ヲ讀マハ頃カラク眼ヲシテ紙背ニ透
ランム可シト請フ此語ヲ復詭玩味シ玉ハ、記載ノ意

自カラ瞭然タラン

○浅草山内花園ニ住セル北庭坑波ナル者一ト号ス
写真ノ技ニ精妙ナリシカ此頃マタ米國人ヨリ一種新
發明ノ方法ヲ傳習セリ四方ノ有志者就テ其写法ヲ試
ムベシ
○山中縣近藤芳樹故蘇小言ノ畧ニ牛乳ハ補益ノ最上
ナル良藥ニシテ常ニ之ヲ飲ムトキハ弱キヲ強ク老々
ルヲ壯ナラシム然レ氏腐敗シ易キ物ナルユヘニ牛牧
ニ遠キ所ノ者ハ飲ムトヲ難シトス故ニヨルクトイフ
ニ製シテ用ユヨルクハ即チ煉乳ナリ其能生乳ニ異ル

コトナシ然ルニ固陋ナル片鄙ノ人ハ迄頃西洋ヨリ傳
 来セシ方ナルユエニ之ヲ飲ムヲハ穢ナリト云テ忌嫌
 フ者多シコハ甚シキ僻事ナリ我皇國ニ於テ牛乳ヲ
 用ヒ始メタルハ 孝徳天皇ノ御代ニシテ當時之ヲ
 朝廷ニ獻リシカバ 天皇飲御テ甚タ褒賞サセ玉ヒ
 献リシ者ニ和藥使主トイフ氏姓ヲ賜ヘリリレヨリ以
 来大ニ壺ニ行ハレ 朝廷ヨリ國々ニ乳戸トイフ民ヲ
 置テ之ヲ統ラセ其ヲ煎シ誥テ最上ノヨルクトナサシ
 メタマハリヨルクハ洋名ナリ 皇國ニテ之ヲ蘇トイ
 フ往昔ハ諸國ヨリ番次ヲ以テ献リシ中ニ周防六壺小並

外長門八壺洞ト見エテ防長ヨリモ此蘇ヲ年々ニ獻レ
 リ殊ニ長州ハ諸書ニ長門牛ノ名散見シテ其乳モ他國
 ヨリハ勝レタリケンヲ牧ノ在所サヘイツクトモサダ
 カナラズナリヌレハマシテ其畜養ノ道モ傳ヲ失ヒタ
 ルコリ惜ケレサレバ正月ノ大臣ノ大饗ニ勅使ヲ以テ
 蘇ヲ賜フノ式アルハコレ饗膳ノ塩梅ヲ調和セシメ玉
 ハムカ為ナリ云々

○去月下旬從二位山内容堂奉送アリシニ近衛兵ヨリ
 モ之ヲ送り且柳橋其他ノ絃妓ケイシヤ間ケイコ猿若芝居役者モチ八
 吉六等駁シク群集護送セシトゾ實ニ迄来盛大ノ華式

ナルヨシ

○横濱刊行ヘラルト新聞ニ日本全權大使華盛頓府ニ於テ米國ノ貴女十五員ヲ撰舉シテ英語及ビ普通學ノ教師トシ本邦ノ女子ニ教授セシメンカタメ本邦ニ送センコトヲ希望セラレタルニ以撰舉ニ預カラシムコトヲ乞ヒシ貴女凡四百名ニ過キタリト云ヘリ蓋シコノ撰舉ニ應スル者ハ三ヶ年ノ間毎年千五百弗ノ給料ト定メラレ且日本往返ノ旅費ハ別段供セラル事ナリトゾ

新聞雜誌第五十三號 終

報告

○英學童子通

初編一冊出来ニ編三編嗣刻

此書ハ山本蕉逸翁ノ童子通ニ倣ヒ初テ英字ヲ學バモノカナラス熟知スベキ箇條ヲ悉ク集録シ細カニ説明セリ初學此書ニ因テ勉勵セハ學術ノ進歩必ス他日ニ倍セン

發兌

東京芝神明前

和泉屋市兵衛

○東京ノ巽ニ當リ目今一大勝地ヲ開リ前ニハ娼家軒

ヲ並ヘ蜀山阿房ノ高樓ヲ營ミ花柳桃李ノ巷街ナリシモ蟻カ漢火ノ烟トセセ鬚氣吐出ノ泡ト消シガ一小地

球ノ戯場界復々茲ニ顯レテ新タニ富ノル町ノ各モ割
 符ヲ合ス鳴蛤蚶此機ヲ計ル割煮調理ハ卓朴臺ノ支那
 比擬サス食料卓机ノ西洋博采ス豊芦原ノ中津國片陂
 ヲラス献立ノ柱太シキ會席ノ間毎ヲ區別ツ花鳥ノ採色在
 ニ香ヲ布ク四季ノ園樓上遙カニ眺望セハ富士ト筑波ヲ
 左右ニ仰キ南面ノ山海ニ炎々タル蒸氣ヲ發シ彼鐵道ノ
 出車アレハ貨盛ツテ入船ノ目的ヲ規ツ鐵炮洲幾代ツキヂノ客
 設ケ御濱ノ真砂數繁キ内外舟車ノ御來臨ヲ開業ノ當日
 ヨリ萬國世界ノ端々マデ一圓ニ希冀ヲ
 東京新富町一丁目北側
 鮮魚割煮
 近源亭
 應需 彼名 垣魯文演

撰者伏テ四方ノ君子ニ告グ奉ル本局賦官許ヲ得テ新聞紙ヲ刊行ス
 其旨意ハ前ニ述レ所知シ但高事異聞耳目ノ及ハル處多ク願久同好人
 何事ニヨラス其處々新聞ヲ書集ノ本局及ビ下ニ列スル實ヲ處ニ寄セ三
 ハ次第ニ刊行發兌スヘシ但寄玉ヲ書付ニハ其住處姓名ヲ必ス載セ玉ヲ
 可シ無名ノ書ハ敢テ未入セズ無根ノ浮言造説アルヲ恐ルナリ
 一 田地山林家屋舟車等賣買賃借
 一 產物器具食品藥劑等一切賣買
 一 諸船ノ入湊出帆積荷物件等
 一 店ヒラキ新銀賣出等ノ引札
 一 右等何モ一行廿三宇一度出板價三知宛同事件二度各ハ五ノ一
 一 金銀其外ノ貸借等
 一 灰物毒物等
 一 觀セテノ集會等ノ引札
 一 切賣買ノ弘等盤ニヨツテ出帆スル事件
 一 新聞紙明地若及書集等賣買
 一 御引受イタクシ候

新聞雜誌定價一號銀二匁 毎週出版

當時發兌號ヨリ先キ二十冊分引受候向ハ定價ヨリ二割引
同四十冊分ハ三割引

右定ノ通約定前金受取候上ハ前號發兌順序ノ逐ヒ本局ヨリ御届致
候又遠方取次賣込方望シ人ハ本局(御引合)上御相談可申候

本局

東京兩國若松町

新 堂

東京兩國橋本町三丁目

和泉屋金右工門

東京芝三島町

和泉屋市兵衛

大塚齋藤

河内屋吉兵衛

東京東浦

村上勘兵衛

東京日本橋通

須原屋茂兵衛

大塚齋藤

河内屋喜兵衛

大塚齋藤

河内屋清七

東京日本橋

釘店 和泉屋杜造

賣込所